

病床機能分化・連携推進基盤整備事業 調書〔病床転換用〕

事業実施主体名	東北医科薬科大学若林病院	所在地	仙台市若林区大和町2-29-1
構想区域(二次医療圏)	仙台		

調書作成年月日	平成30年11月6日
調書作成者	東北医科薬科大学若林病院

宮城県地域医療構想との関係

1 自院が所在する構想区域における病床機能報告結果と2025年の必要病床数

〈仙台区域〉

病床機能	病床機能報告 <2017年度>	本事業の方向性	必要病床数 <2025年>
高度急性期	2,326	→ 転換 →	1,798
急性期	7,514		4,999
回復期	1,254		3,899
慢性期	2,252		2,505
計	13,346		13,201

2 自院の現状(自院患者の動向分析, 区域において担う自院の役割等)

現在、若林区で唯一の総合病院であり、地域の一次医療機関より紹介を受け各科二次医療(入院)の提供をしている。さらに前方連携においては、市内の東北大学病院、仙台医療センター、仙台市立病院よりリハビリ目的の患者受け入れを行っている。また、高齢化と疾病の重複化、生活背景の複雑化している中で退院支援・調整に力をいれ、地域で暮らせるような支援を行う病院としての機能を確立していこうとしている。
なお、東北医科薬科大学病院と医療機能を分担し、東北医科薬科大学病院からの回復期医療を必要とする患者等の受け入れを行っている。

3 事業の必要性

若林病院は、東北医科薬科大学病院と機能分担し、地域医療および医学教育に不可欠な診療機能を整えていく。

4 事業実施により目指す状況(自院患者の動向予測, 区域で担う自院の役割の変化, 地域医療構想の推進内容等)

地域医療構想の中、一般病床の一部を回復期の病床に転換し、さらに地域包括ケアシステムにおける役割として地域包括ケア病床を維持していく。また大学病院としての医療機能の充実とともに、二次医療機能の役割を担っていく。

5 その他(地域の事情に即し特別に考慮した事項など)

近隣エリアに仙台医療センター、仙台市立病院、東北医科薬科大学病院があるため医療機能の分担を進めていくことが必要である。

事業概要

1 病床転換計画

○ 整備する回復期病床 → **6** 床

〈病院全体の病床機能別の許可病床数〉 H30.11.1現在			H31.4.1時点(予定)		
病床転換前 (合計病床数 [199] 床)			病床転換後 (合計病床数 [111] 床)		
病床の機能	入院基本料・特定入院料	病床数	病床の機能	入院基本料・特定入院料	病床数
高度急性期			高度急性期		
急性期	急性期一般入院料 2	173	急性期	急性期一般入院料 2	79
回復期	地域包括ケア入院医療管理料 2	26	回復期	地域包括ケア入院医療管理料 2 回復期リハビリテーション病棟入院料 6	12 20
慢性期			慢性期		

2 事業内容

[全体計画]		事業着手 H31.1	～	事業完了 H31.12	～	転換した病床での診療開始 H31.4	
○ 施設整備	回復期病床への転換	事業費	(うち補助金申請予定額)	事業種別	対象面積	事業期間	
		54,700,000 円	10,872,000 円	改修	252 m ²	H31.1 ~ H31.3	
○ 施設整備	医学的リハビリテーション施設	事業費	(うち補助金申請予定額)	事業種別	対象面積	事業期間	
		193,300,000 円	46,687,000 円	改修	1,101 m ²	H31.4 ~ H31.12	
		整備する施設					
		理学療法室, 作業療法室, 言語聴覚室, 水治療室, 便所, 等					
届出(予定)リハビリテーション料							
脳血管疾患等リハビリテーション料1、廃用症候群リハビリテーション料1、運動器リハビリテーション料1、呼吸器リハビリテーション料1							
○ 設備整備	医療機器等の購入	事業費	(うち補助金申請予定額)	事業期間			
		16,000,000 円	5,250,000 円	H31.4 ~ H31.5			
購入予定の主な医療機器等							
ADLキッチン, 歩行練習用階段, コードレスバイク, 免荷式リハビリテーションリフト, ビジビッチ, 昇降式テーブル等							

※事業期間が年度を跨る場合の 出来高見込み及び補助申請の予定	平成30年度の見込み		平成31年度の見込み	
	出来高 (%)	補助金申請額 (円)	出来高 (%)	補助金申請額 (円)
施設整備 [回復期病床への転換]	100	10,872,000		
施設整備 [医学的リハビリテーション施設]	0		100	46,687,000
設備整備 [医療機器等の購入]	0		100	5,250,000

3 特記事項(効率的な事業実施のための取組, 他の補助金等の活用の有無やその内容など特筆すべき事項)

回復期リハビリ病棟とリハビリセンターの充実を図るため活用を進める。
※上記金額については概算額であり、今後の計画検討により変更があります。

※ 調書作成に当たっては、事業実施主体の今後の取組方針が分かるよう具体的に記載すること
なお、次の観点は必須とする ○公立病院：新公立病院改革プランとの整合性の観点 ○公的病院：公的医療機関等2025プランとの整合性の観点 ○本院・分院を持つ病院：各病院の関連性の観点